

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	再発難治フィラデルフィア染色体陽性白血病に対する salvage and bridging therapy
	研究目的	再発難治フィラデルフィア染色体陽性白血病の予後は極めて不良である。近年、第3世代チロシンキナーゼ阻害剤であるボナチニブが保険承認され、治療選択肢が広がった。とはいえ、同種移植が唯一の根治療法であり、その詳細な治療戦略については不明な点が多い。 本研究では、再発難治フィラデルフィア染色体陽性白血病と診断され、ボナチニブを使用した化学療法を介入させた症例を対象とする。単施設による後方視的解析。 主要評価項目は、化学療法後、完全寛解率と同種移植成功率。
	研究対象者	当院にて2016年1月より再発難治フィラデルフィア染色体陽性白血病と診断され、ボナチニブを含む化学療法を施行した患者
	研究期間	西暦 2018 年 11 月 9 日 ~ 西暦 2020 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	血液内科 部長 金森平和
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	血液内科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし